

明日を拓く

学校報
 平成31年 4月 8日
 No. 1
 美郷町立美郷中学校

■4月1日、着任いたしました。

校長の千田寿彦と申します。美郷町一丈木在住です。大学卒業後、福島県の福島成蹊女子高校6年、平成元年度から協和中学校2年、千畑中学校10年、平成13年度から県教育庁9年、平成23年度から大仙市教育委員会6年、そして前任の大仙市立平和中学校に3年間勤めて本校に赴任いたしました。見慣れた向きとは異なる角度の真昼岳の表情も、また格別です。



454名の生徒一人一人の「笑顔、やる気、根気」がいっぱいの美郷中学校を目指して、教職員47名が一丸となって頑張ります。よろしくお願いいたします。

■始業式で生徒に希望を託しました。

式辞のキーワード【勉強、自立、信頼】

①3年生は最高学年として、生徒会活動や学校行事、部活動はもちろん、最も大切な学習面や生活面で下級生の手本となって全校をリードしてほしい。

②2年生は6か月後には3年生からバトンを引き継ぐ自覚をもっていろいろな活動に励んでほしい。また、入学してくる新入生にとって身近で優しい頼りがいのある先輩としていろいろな教えてあげてほしい。

③新しい一年間のスタートに当たって、しっかり目標をもつことが大切。具体的に、そして、本当にこれだけは頑張っていて取り組むぞということに絞ることが大切。

④第一のポイントは「勉強」。

学校は勉強するところ。部活動は、勉強の仕方の基本的な手順を体で身に付けるためにも重要。勉強は積み重ね。部活動も同じ。一日一日分かって進むことが大切。一つのことを身に付けるために十の努力を惜しまないこと。それは、一を知って十を見通す力につながる。そのようにして蓄えた実力で、自分の将来を切り拓いてほしい。



【勉強】

⑥第二のポイントは「自立」。

自分のことは自分でする。自立するということは失敗を生かせるということ。失敗を隠したり、失敗を恐れて何もしなかったりしては自立は望めない。学校は失敗するところ。失敗から学び自立の力をつけるところ。大いにチャレンジしてほしい。



【自立】

⑥何事も健康が基本。心と体の健康。

安心できる家族や家庭、学級、学校の下で、部活動や様々な活動の仲間と共に、生活のリズムをしっかりとつくて、互いの信頼関係をより強くしていくことが、楽しい充実した毎日につながる。



【信頼】

■学校教育目標「さわやかな美郷中生を育む」

【重点事項】 心ひとつに
～ 笑顔いっぱい
やる気いっぱい
根気いっぱい ～

学校教育目標と重点事項は継続して取り組みます。その具体的な

姿を次のように考えています。

独力で	わかった できた 楽しい 面白い 乗り越えた やり通した	もっと… また… やってみよう やってみたい
協力して	達成した 満足した 納得した わかり合えた	ならば… なぜ… どうして…
周囲から	認められた わかってもらえた	次は(も)… ようし、やるぞ!!!

そして、【目指す生徒像】の具現化を図ります。

- ◎自らを律し、自ら行動したり挑戦したりする生徒 (生活力、行動力、体力)
- 適切に自己表現し、知識・技能を活用して探究する生徒 (知力)
- 思いやりの心を持ち、他者を尊重する生徒 (心力)